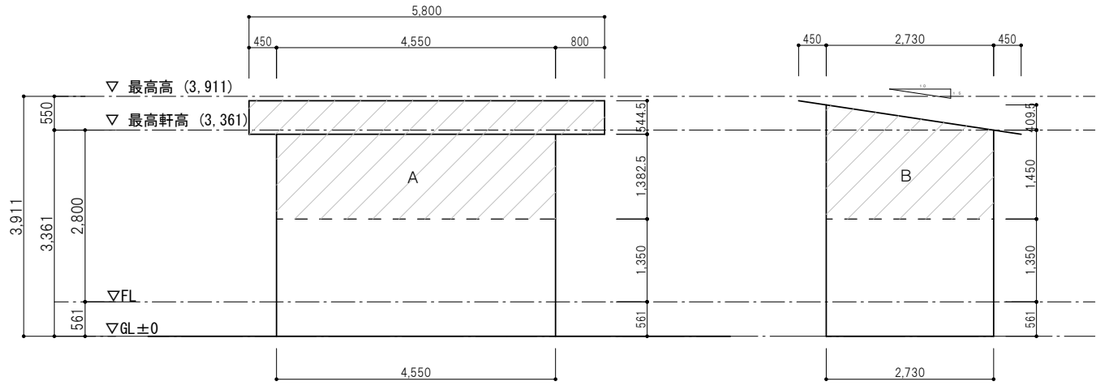
物置　建築基準法令４６条にもとづく軸組計算表

階	方向	必要壁量（m）（地震力）	必要壁量（m）（風圧力）	存在壁量（m）	判定
1	X	床面積（12.42㎡） × 床面積当たり必要壁量（0.15） ＝1.86	B見付面積（4.517㎡）x0.5（m/㎡） ＝2.259 地震力＜風圧力	2x0.91x 4＝ 7.28 ＋ 4x0.91x 2＝ 7.28 14.56	存在壁量／必要壁量（風圧力） 14.56/2.259=6.44　　ＯＫ
	Y		A見付面積（9.448㎡）x0.5（m/㎡） ＝4.724 地震力＜風圧力	2x0.91x 2＝ 3.64 ＋ 4x0.91x 2＝ 7.28 10.92	存在壁量／必要壁量（風圧力） 10.92/4.724=2.31　　ＯＫ

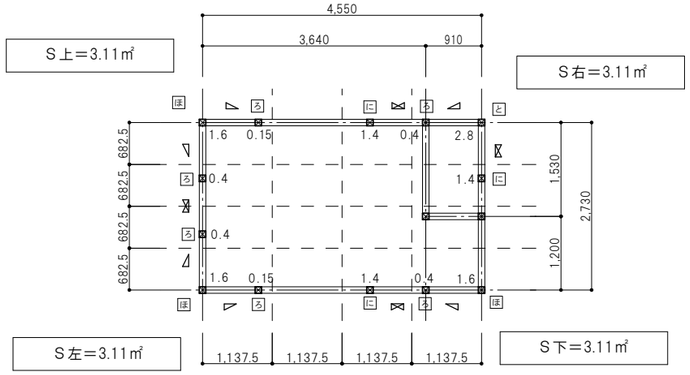
側端部 必要壁量（m）	側端部分存在壁量（m）	壁量充足率	判定の壁率比
LN上＝S上x0.15 ＝3.11x0.15 ＝0.47	LD上＝ 2x0.91x2 4x0.91x1 ＝7.28	LD上／LN上 ＝7.28/0.47 ＝15.48	∴壁量充足率がともに１を超えているため適用しない
LN下＝S下x0.15 ＝3.11x0.15 ＝0.47	LD下＝ 2x0.91x2 4x0.91x1 ＝7.28	LD下／LN下 ＝3.64/0.47 ＝15.48	
LN左＝S左x0.15 ＝3.11x0.15 ＝0.47	LD左＝ 2x0.91x2 4x0.91x1 ＝7.28	LD左／LN左 ＝7.28/0.47 ＝15.48	∴壁量充足率がともに１を超えているため適用しない
LN右＝S右x0.15 ＝3.11x0.15 ＝0.47	LD右＝ 2x0.91x0 4x0.91x1 ＝3.64	LN右／LN右 ＝3.64/0.47 ＝7.74	



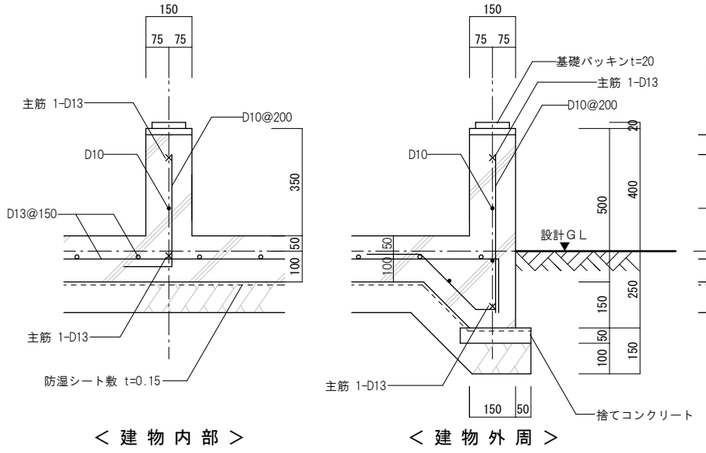
見附面積算出図　1/100

見付面積計算表

A	4.550×1.3825+5.800×0.5445　＝9.448㎡
B	2.730×1.450+2.730×0.4095×0.5　＝4.517㎡

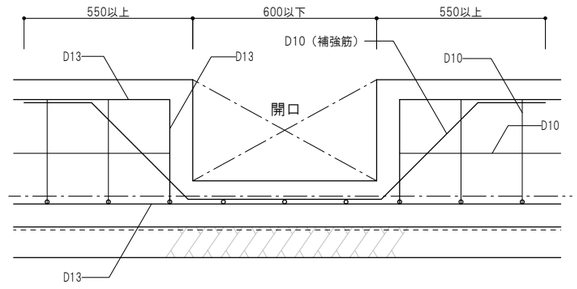


耐力壁・柱配置図　1/100

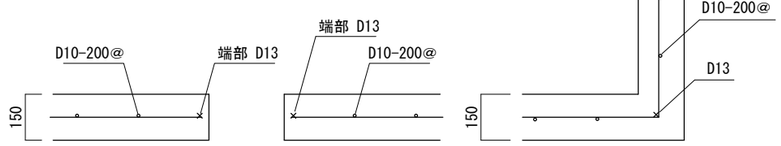


基礎断面図　1/20

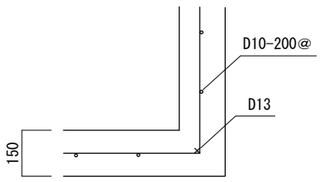
※立上り部分の補強筋は、主筋とフック等により緊結すること



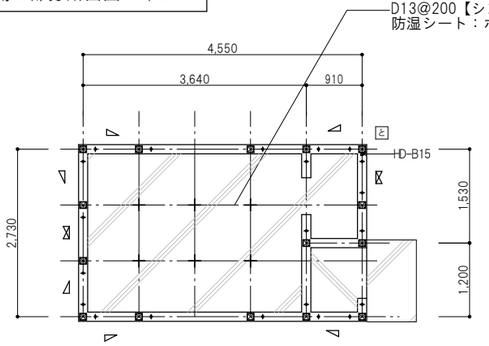
開口部分断面図　1/20



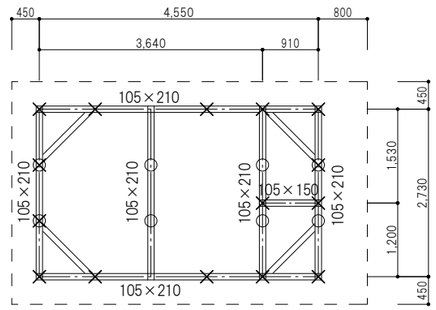
基礎端部



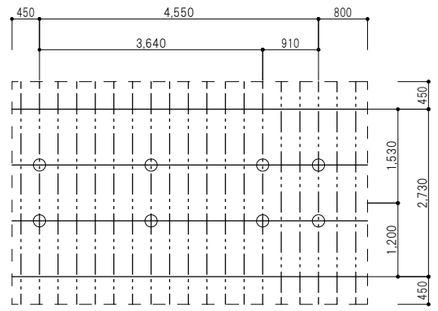
出隅部分



基礎伏図　1/100



小屋伏図　1/100



母屋伏図　1/100

構造部材凡例

基礎		
コンクリート	FC=24N/mm² スランプ=18cn	
鉄筋	SD295A(JIS G3112)	
▲へ	ホールダウン金物 HD-B10	※柱脚部及び柱頭部に施工のこと
▲と	ホールダウン金物 HD-B15	※柱脚部及び柱頭部に施工のこと
▲ち	ホールダウン金物 HD-B20	※柱脚部及び柱頭部に施工のこと
▲り	ホールダウン金物 HD-B25	※柱脚部及び柱頭部に施工のこと
▲ぬ	ホールダウン金物 HD-B15*2	※柱脚部及び柱頭部に施工のこと
⊖	アンカーボルト M12 L=400　@2,000以下	
＋	鋼製束	

構造材		
	隅柱	桧ＫＤ　105＊105
	管柱	桧ＫＤ　105＊105
	土台	桧ＫＤ（防腐）105＊105
	梁・桁	米松ＫＤ　105＊材成
	母屋	米松ＫＤ　105＊105
○	小屋束	米松ＫＤ　105＊105
	間柱	ホワイトウッドt30@455
―・―・―	垂木	米松45＊60@303
柱頭 柱脚		筋かい　90x45
柱頭 柱脚 柱頭 柱脚		筋かい　90x45 タスキ
×		下部柱

訂正

TAKASHI HARAI ARCHITECTS
株式会社原井隆建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号
一級建築士 登録 第320892号　原井　隆

検図	製図	工事名称	図面名称	図面番号
		三次方面隊田幸分団 第２部格納庫整備工事	詰所 軸組計算表・伏図	A-07
			縮尺：A3判：1／100・1／20	区分